



国家農業普及センターと Loc Troi Group と株式会社 NEWGREEN との覚書締結式

— 日本の技術を生かし、メコンデルタで低排出かつ高品質な 100 万ヘクタールの稲作を持続的に発展させ、グリーン成長を目指す —

2026 年 3 月 4 日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

JICA は中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICABiz）において、株式会社 NEWGREEN（所在地：東京都小金井市、以下「NEWGREEN」）から提案のあった「ベトナム国高品質・低排出米栽培用の抑草アイガモロボ¹にかかるニーズ確認調査（以下「本調査」）」を採択し、実施しています。

本調査の一環として、2026 年 3 月 3 日、国家農業普及センター、Loc Troi Group、NEWGREEN の 3 者による覚書締結式を実施しました。今後、アイガモロボシステムおよび日本の先進技術を活用した低排出型稲作プロセスの共同研究・試験・実装を進め、さらにはベトナム国内における生産・組立・普及へとつなげていくことを目指しています。

近年、ベトナム政府は「温室効果ガス排出削減行動計画」を推進しており、特に、2023 年 11 月に承認された「2030 年までのメコンデルタにおける低排出で高品質な 100 万ヘクタールの稲作の持続可能な開発とグリーン成長の両立」に関する国家プロジェクトは、ベトナム農業改革を象徴する取り組みです。この国家プロジェクトは温室効果ガス排出量の大幅削減と高品質米の安定生産の両立を目指しています。

本調査を通じ、NEWGREEN が有する生産性の向上やクリーン技術・環境配慮型プロセスに関するノウハウと技術が、ベトナムの社会課題の解決およびベトナム政府プロジェクトの推進に寄与することを期待しています。

本調査で対象となる「抑草アイガモロボ」や「間断かんがい技術（Alternate Wetting and Drying）」などの技術は農薬を使用せずに水田の雑草の発芽・生育を抑える日本発の技術です。ソーラーパネルと蓄電池でモーターに給電し、特殊なスクリューで水田の水と土を攪拌して濁りを発生させ、その遮光効果により雑草を抑制します。

GPS と AI も活用した自動航行機能により、一定範囲の水田を均等に攪拌し、稼働状況を記録することもできます。また、この攪拌によって好気性バクテリアの増殖し、水田からのメタンガスの排出を抑制する効果も期待されています。

JICA は今後もベトナム政府の温室効果ガス排出削減行動計画に関する取り組みへ協力するとともに、人々の健康や自然環境への負荷を軽減し、生態系の保全に寄与する取り組みを継続してまいります。

お問い合わせ: JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005(内線 125)E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp



ⁱ アイガモロボ (Aigamo Robot) : 水田における除草作業を効率化し収量向上に寄与するほか、メタンガス排出削減にも効果が期待されるロボット。